

意見書様式
(主要指標／成果指標に対する意見)

資料6

議題(3) 成果指標について

部会名:文化観光スポーツ部会

| ① 主要指標 | | | | | | | | |
|--------|--------|--------------------|-------|-----|--|---|-------------------------|-----|
| 番号 | 基本施策番号 | 指標名 | 指標(案) | 目標値 | 理由等 | 県の考え方 | 委員 専門委員 | 担当課 |
| 1 | 4-(2) | 外国人観光客の沖縄旅行に対する満足度 | — | — | <p>(倉科委員) 本項目ですが、ウチナーネットワークの継承・発展、多文化共生社会の構築、多角的な交流の推進という内容からすると、対案はありませんが、外国人観光客の満足度を主要指標とするのは妥当ではないと考えます。交流の意味では観光客満足度はあると思うが、「ネットワークの形成」は観光客満足度ではかれるものではないと思います。</p> <p>(下地部会長) 基本施策4-(2)の主要指標が外国人観光客の沖縄旅行に対する満足度となっているが、多文化共生も含めて考えると、この指標で適しているのか。この項目の主要指標に外国人観光客をボリューム的な部分で判断するのは相応しくないと思うので、この指標をもう1回検討してはどうか。</p> | <p>【委員意見を踏まえ修正】</p> <p>4(2)沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成の主要指標として、「<u>国内外における世界のウチナーネットワークの強化を推進する取組数</u>」としたと考えます。</p> <p>同指標であれば、ウチナーネットワークの継承・発展、国際理解の促進、文化を通じた交流などの取組を把握でき、取組数が増えることで、沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成につながると考えることから、本指標を選定したいと考えております。</p> | 倉科 専門委員 下地 部会長 | 交流 |

| ② 成果指標 | | | | | | | | |
|--------|-----------|-----------------|--|-----|--|---|-------------------------|-----|
| 番号 | 施策番号 | 指標名 | 指標(案) | 目標値 | 理由等 | 県の考え方 | 委員 専門委員 | 担当課 |
| 1 | 5-(5)-イ-① | 観光客の沖縄旅行に対する満足度 | <ul style="list-style-type: none"> ●人材育成の施策の実施数と、受講者のアンケート ●経営者へのアンケート ●自治体観光部局へのアンケート <p>観光従事者の人数、給料の推移、従事者からの提言や意見を募る</p> | — | <p>前田委員 観光客のコメントや満足度などだけではなく、リーディング産業としてあらゆる面から指標を考えた方がよい</p> <p>下地部会長 満足度を指標にするということについて前振計の見直しなどでも国から指摘があったかと思う。また、施策と指標の関係性が遠く感じるので、観光人材の視点から評価をする指標の方がよいのではないかと。</p> | <p>【委員意見を踏まえ修正】</p> <p>観光従事者(正規雇用者)1人当たりの平均月額給与に変更する。 観光産業実態調査にて調査する</p> | 前田 専門委員 下地 部会長 | 観振 |

意見書様式
(主要指標／成果指標に対する意見)

資料6

議題(3) 成果指標について

部会名:文化観光スポーツ部会

| | | | | | | | | |
|---|--|-------------------|---|---|---|---|---------------------------------|------|
| 2 | 3-(2)-オ-② ② マリントウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備 | 1,000人以上のMICE開催件数 | — | — | 東専門委員 今後ハイブリッドMICEの開催が増えてくと言われているので、それに応じた指標を設けておくべきではないか。 下地部会長 ハイブリッドMICEになり、大型を取りにいくだけという方向から方向転換することになると思っているので、1,000人以上にこだわらず、中身の議論をしたほうがよい | 【原案のとおり】 大型MICE施設の整備を推進するため、リアルでの参加者を対象とした1,000人以上のMICE開催件数としております。 なお、ハイブリッドMICEの開催件数は、今後改定を予定している沖縄MICE振興戦略において、検討したいと考えております。 | 東 専門委員 | MICE |
| 3 | 1-(4)-イ① 創造的文化芸術の発展を担う人材の育成 | 沖縄県芸術祭参加者数 | — | — | 振興計画案では、①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成は、幅広く分野を横断する芸術文化活動の新たな創出促進及び発展を担う人材の育成、並びに専門的教育機関における教育の充実が謳われている。沖縄県芸術祭は、主に美術、書道、写真に限られている。文学、音楽、演劇、舞踊、ITメディア芸術はそのそもそも対象外であり、成果指標の成果は合致していない。新しい創造活動を促進するためには、県内文化団体をエンパワメントしつつ、国際的に活躍する芸術家のキャリアアップのための国際的なアートネットワークへの接続、世界的なマーケットシーンへの訴求、国際展参加のためのコーディネーターが求められる。そのためにも、専門人材の配置、育成を通して文化芸術の振興を図るべきである。 | 【原案のとおり】 各施策における成果指標は、現行計画の成果指標や本県の現状・課題、国の計画等における指標等を参考にした上で、施策の効果を計るものとして適切か、定量的かつ持続可能な指標か、という観点から選定したものであります。 本施策に係る取組の実施により、文化芸術の発展を担う人材が育成されることで、文化芸術が活性化し、沖縄県芸術祭参加者数の増加につながることから、本指標を選定したものであります。 | 学術・人づく り部会 宮城 専門委員 | 文化 |

意見書様式
(主要指標／成果指標に対する意見)

資料6

議題(3) 成果指標について

部会名:文化観光スポーツ部会

| | | | | | | | | |
|---|----------------------------|---------------|---|---|---|---|---------------------|----|
| 4 | 1-(4)-イ② 県民の文化芸術活動の充実 | 国立劇場おきなわの入場者数 | — | — | <p>振興計画案では、広く県民が文化芸術を鑑賞する機会の拡充が謳われている。本県においては、民間団体の多様な文化芸術活動が地道に続けられており、また、県が支援する文化芸術関連の事業は国立劇場おきなわに留まらないのは明らかである。「国文祭・障文祭」が2022年開催予定だが、障文祭企画委員会の議論では、障害のある無しによる選別ではなく、真の共生社会の実現、ノーマライゼーションにあると聞く。文化芸術と社会福祉、社会教育がしっかりとタッグを組んだ基本施策を打ち出す必要を感じる。</p> | <p>【原案のとおり】 各施策における成果指標は、現行計画の成果指標や本県の現状・課題、国の計画等における指標等を参考にした上で、施策の効果を計るものとして適切か、定量的かつ持続可能な指標か、という観点から選定したものであります。 県民等の文化芸術活動が充実することにより、公演等の催しが増え、国立劇場おきなわの入場者数の増加につながることから、この指標を選定したものであります。</p> | 学術・人づくり部会 宮城専門委員 | 文化 |
| 5 | 1-(4)-イ③ 文化資源を活用した地域づくり | 県内文化施設の稼働状況 | — | — | <p>地域に根差した文化にも脚光を当て、豊かな地域文化をみつめなおしたまちづくりを展開することが本施策のかなめとなっている。このような文化活動は文化施設だけで行われるものではなく、自治公民館等はもちろん、まちぐわや古民家、空き店舗、史跡などの取り組みも盛んであり、指標との整合性が取れていないように感じる。施設の稼働状況だけではなく、地域文化資源の活用状況や企業等の文化活動、参加者の多様性も考慮すべきではないだろうか。</p> | <p>【委員意見を踏まえ修正】 第2回部会の審議結果(案)のとおり ③県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数 委員ご意見のとおり、文化資源を活用した地域づくりとしては、施設の稼働状況だけでなく、各文化団体による様々な活動が想定され、その実現のためには、文化関係団体や企業等による文化芸術の支援を促進させる必要があることから、成果指標を上記のとおり修正いたします。</p> | 学術・人づくり部会 宮城専門委員 | 文化 |

意見書様式
(主要指標／成果指標に対する意見)

資料6

議題(3) 成果指標について

部会名:文化観光スポーツ部会

| | | | | | | | | |
|---|-----------------------------|---|---|---|--|---|-------------------------|----|
| 6 | 1-(4)-イ④ 文化芸術活動を支える基盤の強化 | 県外の財団等が、県内の文化団体等に対して行う助成件数(県文化振興課が募集を取りまとめた案件に限る) | — | — | <p>県外の財団等が行う助成件数を成果指標にするというのが県の振興計画として適切だろうか。また、県文化振興課がとりまとめた案件に限っているが、県内の文化団体等が独自に助成情報を把握、県を介さずに応募・採択されることも想定される。各団体の基盤が強化されればこのようなケースも増えることも考えられる。その場合、目的には近づいているにもかかわらず目標は達成されないという矛盾が生じる可能性もある。また現在、沖縄県文化振興会には様々な支援メニューがあり、社会包摂や地域づくり、観光、伝統文化継承等に関わる多様な取り組みが展開され、一定の成果を上げている。県外の財団等の助成件数を指標にするのではなく、既存の取り組みの強化がはかれるような指標を設定すべきではないか。</p> | <p>【委員意見を踏まえ修正】 第2回部会の審議結果(案)のとおり</p> <p>④県内文化施設の稼働状況</p> <p>委員ご意見のとおり、県内の文化芸術活動の基盤が強化された効果としては、県全体として文化芸術への関心が高まり、県内文化施設で実施されるイベントの増加につながることから、成果指標を上記のとおり修正いたします。</p> | 学術・人づくり部会 宮城 専門委員 | 文化 |
|---|-----------------------------|---|---|---|--|---|-------------------------|----|

意見書様式
(主要指標/成果指標に対する意見)

資料6

議題(3) 成果指標について

部会名:文化観光スポーツ部会

| | | | | | | | | |
|----|--|-----------------------------|---|---|--|---|-------------------------|----|
| 7 | 5-(1)-エ② 生きがいをもたらす文化・芸術活動の振興 | 沖縄県芸術祭参加者数 | — | — | 公民館をはじめとする社会教育施設で行われている様々な文化・芸術活動において、沖縄県芸術祭参加を目標にしているものは決して多いとは言えない。沖縄県芸術祭以外にも県民が生きがいを感じて取り組んでいる文化・芸術活動があるはずで、実態を把握した上で成果指標を定める必要があるように思う | 【以下のとおり修正】 ②県立博物館・美術館入館者数 生きがいをもたらす文化・芸術活動の振興に向けては、より多くの県民が文化芸術等に直接触れ、また、文化芸術等と結びついた体験を通して、積極的に文化芸術に触れる機会を自ら拡充していくことを想定することから、成果指標を上記のとおり修正いたします。 | 学術・人づくり部会 宮城 専門委員 | 文化 |
| 8 | 3-(2)-ア-① ①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備 | 観光客が「沖縄は安全であると感じる」割合 | ●観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合 | | 安全・安心の島の構築というのであれば安全だけでなく安心の割合も追加する | 【委員意見を踏まえ修正】 観光統計実態調査にて調査する。 | 下地部会長 | 観振 |
| 9 | 3-(2)-ア-③ ③ 多様な受入環境の整備 | 高齢者等の来沖者数 | ●高齢者、障がい者、LGBTQの来沖者数の割合 | | 高齢者等の等を明記する | 【委員意見を踏まえ修正】 観光統計実態調査にて調査する。 | 下地部会長 | 観振 |
| 10 | 3-(2)-イ-① ① サステイナブルツーリズムの推進 | (県民・観光客・観光事業者)持続可能な観光に係る満足度 | ●持続可能な観光に係る取組に参加した県民の割合 ●持続可能な観光に係る取組に参加した観光客の割合 ●持続可能な観光に係る旅行商品を造成した事業者の割合 | | 県民、観光客、事業者が持続可能な観光に係る各種取組に参加した割合に変更する | 【委員意見を踏まえ修正】 県民は沖縄観光県民意識調査にて調査 観光客は、観光統計実態調査にて調査 事業者は、観光産業実態調査にて調査 | 下地部会長 | 観振 |
| 11 | 3-(2)-イ-② ② 持続的観光指標の設定と観光地マネジメント | 県民、地域、事業者、観光客の満足度 | ●市町村における観光地マネジメント (各市町村観光計画にて独自のKPIを設定した市町村数) | | 各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数を成果指標として変更する | 【委員意見を踏まえ修正】 市町村アンケートにて調査 | 下地部会長 | 観政 |
| 12 | 3-(2)-ウ-④ ④ 質の高いクルーズ観光の推進 | プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数 | プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合 | | 寄港回数ではなく寄港回数の割合に変更 | 【委員意見を踏まえ修正】 国土交通省の調査にて調査 | 下地部会長 | 観振 |

意見書様式
(主要指標/成果指標に対する意見)

資料6

議題(3) 成果指標について

部会名:文化観光スポーツ部会

| | | | | | | | | |
|----|---|------------------------------|---|--|--|---|-------|------|
| 13 | 3-(2)-E-① ① ICTによる新たな観光体験の創出促進 | ヴァーチャル観光客数 | ●AR・VR提供施設数 | | 誘致施策は引き続き実施するので、沖縄に来県された方がICTによる新たな観光体験をするという視点からAR・VR提供施設数に変更する | 【委員意見を踏まえ修正】 観光産業実態調査にて調査 | 下地部会長 | 観振 |
| 14 | 3-(2)-E-③ ③ 世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成 | ワーケーションを目的とした来県者数 | ●ワーケーションを目的とした来県者の割合 | | 右調査の中で数を把握することは困難な為、割合に変更する | 【委員意見を踏まえ修正】 観光統計実態調査にて調査 | 下地部会長 | 観振 |
| 15 | 3-(2)-E-④ ③ 世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成 | 沖縄旅行の満足度(案内表記のわかりやすさ) | ●リアルタイムな情報がオープンデータとして公開されている観光施設数 | | 案内表記のわかりやすさを具体的に明記 | 【委員意見を踏まえ修正】 観光統計実態調査にて調査 | 下地部会長 | 観振 |
| 16 | 3-(6)-U-③ ③ e-スポーツを活用した産業の創出・振興 | 大規模e-スポーツイベント開催件数 | 大規模e-スポーツイベント参加者数 | | 開催件数ではなく参加者数に変更 | 【委員意見を踏まえ修正】 eスポーツ関連団体等への聞き取り調査 | 下地部会長 | MICE |
| 17 | 3-(6)-U-④ ④ 健康サービス産業の振興 | 「心身の健康増進」を目的として沖縄を訪問した観光客の割合 | ●避寒や花粉症等の症状緩和を目的とした来県者の割合 | | 温暖な気候を利用した新たなサービスの展開という視点から、「避寒や花粉症等の症状を緩和を目的とした来県者の割合」に変更 | 【委員意見を踏まえ修正】 観光統計実態調査にて調査 | 下地部会長 | 観振 |
| 18 | 3-(10)-U-② ② 環境に配慮した持続可能な観光の推進 | 離島における(地域住民・観光客・観光事業者)の満足度 | ●持続可能な観光に係る取組に参加した地元住民の割合 ●持続可能な観光に係る取組に参加した観光客の割合 ●持続可能な観光に係る旅行商品を造成した事業者の割合 | | 地元住民、観光客、事業者が持続可能な観光に係る各種取組に参加した割合に変更する | 【委員意見を踏まえ修正】 地元住民は沖縄観光県民意識調査にて調査 観光客は、観光統計実態調査にて調査 事業者は、観光産業実態調査にて調査 | 下地部会長 | 観振 |